

平成 21 年 5 月 28 日
原子力安全対策課
(21 - 15)
<13 時 30 分資料配付>

高速増殖原型炉もんじゅの平成 21 年度運転・建設計画の変更について
(プラント確認試験工程の変更等)

このことについて、日本原子力研究開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

記

平成 21 年度運転・建設計画について、プラント確認試験工程の変更、耐震裕度向上工事等の追加、および国への変更認可申請の追加を行うため、以下のとおり変更する。

- 1 プラント確認試験工程について
屋外排気ダクトの当て板等による補修工事が終了したことに伴い、中断していたプラント確認試験（燃料交換を含む）を再開し、8月をもって終了とする計画である。
- 2 耐震裕度向上工事について
 - (1) 排気筒支持構造の改良工事（平成 21 年 6 月～平成 21 年 11 月予定）
既設設備の耐震性を一層向上させるため、原子炉補助建物屋上に設置している排気筒の支持構造鉄塔頭部に制震装置（オイルダンパ）を取り付け、排気筒の耐震安全性を向上させる。
 - (2) 取水口潮位計信頼性向上工事（平成 21 年 7 月～平成 21 年 12 月予定）
地震時に停電した場合でも、津波による潮位変動を確実に監視できるよう、無停電電源化した潮位計を新たに 2 個設置する。
- 3 新潟県中越沖地震等を踏まえた耐震対応強化工事について
 - (1) 消火用水槽の設置等（平成 21 年 7 月～平成 21 年 12 月予定）
消火用水槽と防火用水槽を兼ね備えた水槽 1 基（250m³）および防火用水槽 1 基（20m³）を設置する。
また、消火器の転倒防止対策や大型消火器の設置を行う。
- 4 変更認可申請について
プラント確認試験に伴い燃料交換*を行うため、「炉心の設計及び工事の方法の変更に係る認可申請」および「炉心の工事計画の変更認可申請」の手続きを行う。

*：初装荷燃料…Ⅱ型 78 体、Ⅲ型 6 体、ブランケット燃料…3 体

問い合わせ先(担当：木下) 内線2357・直通0776(20)0314
--

排気筒支持構造の改良工事



工事の概要

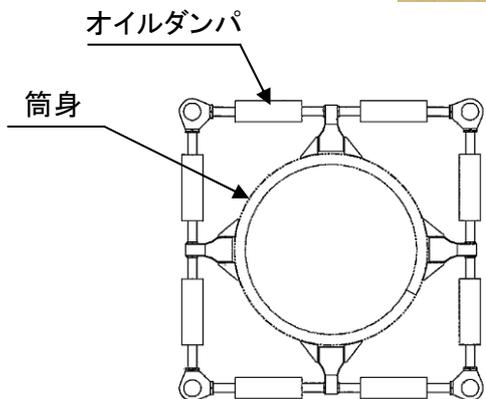
地震時に排気筒の揺れを抑制する為、排気筒支持鉄塔頭部に制震装置(*)を取付け、排気筒の耐震安全性を向上させる。

排気筒の仕様

鉄塔支持型

筒身内径：約4 m

筒身全高：約100m



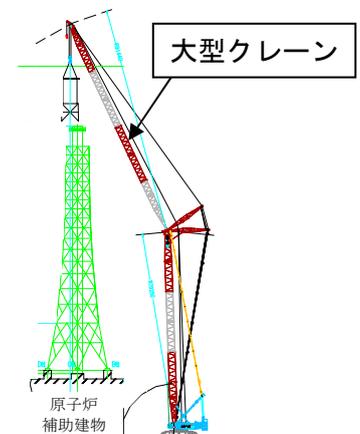
制震装置の設置概要図

(*) 制震装置：地震時の揺れを抑制する装置。今回はオイルダンパを採用し、排気筒支持鉄塔頭部の支持枠をオイルダンパの付いた支持枠と交換する。また、5箇所ある支持点のうち2箇所に関しては、支持点の拘束を開放して筒身にかかる力を分散させる。

大型クレーンを用いて、工事に必要な資材、制震装置等を吊り上げる。この大型クレーンを設置するためには、樹木や水銀灯の撤去等が必要なことから、この準備作業を6月から開始する。

工事予定期間

平成21年6月～平成21年11月

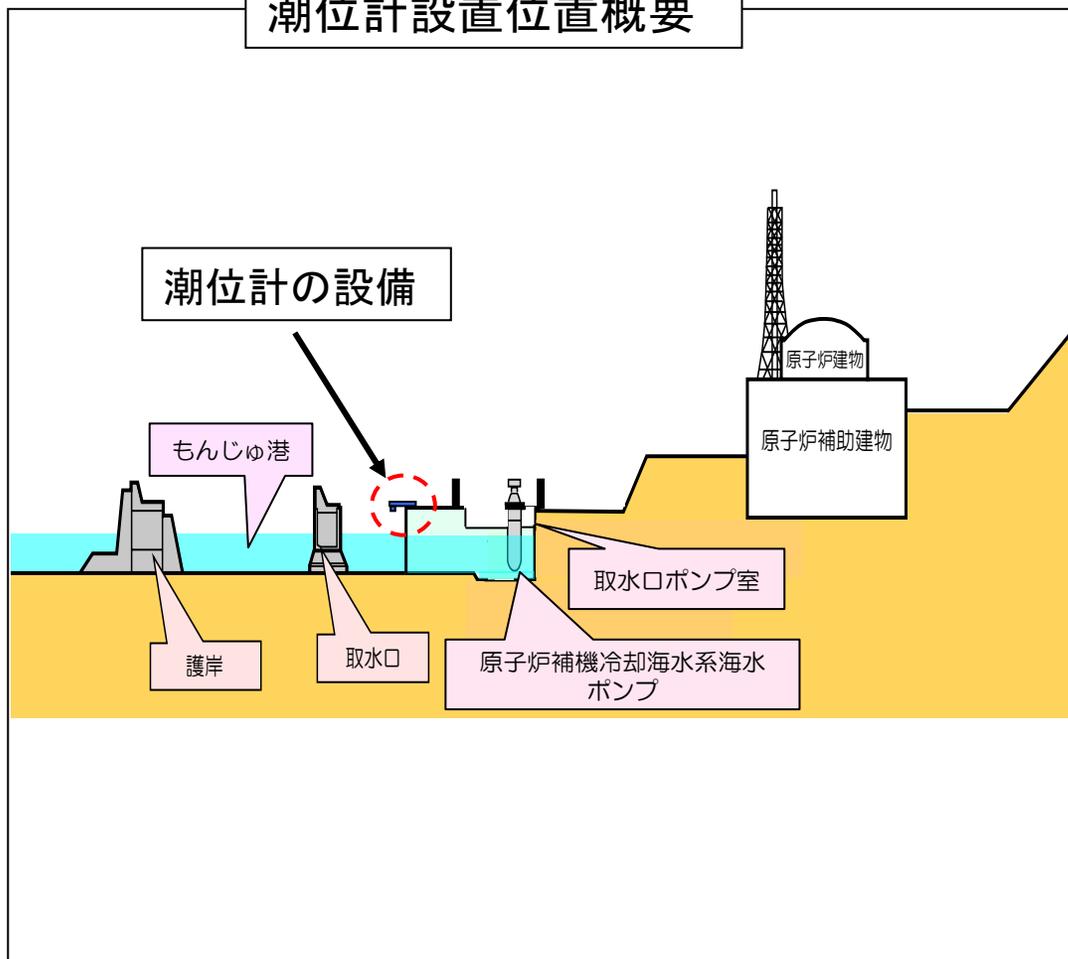


工事イメージ図

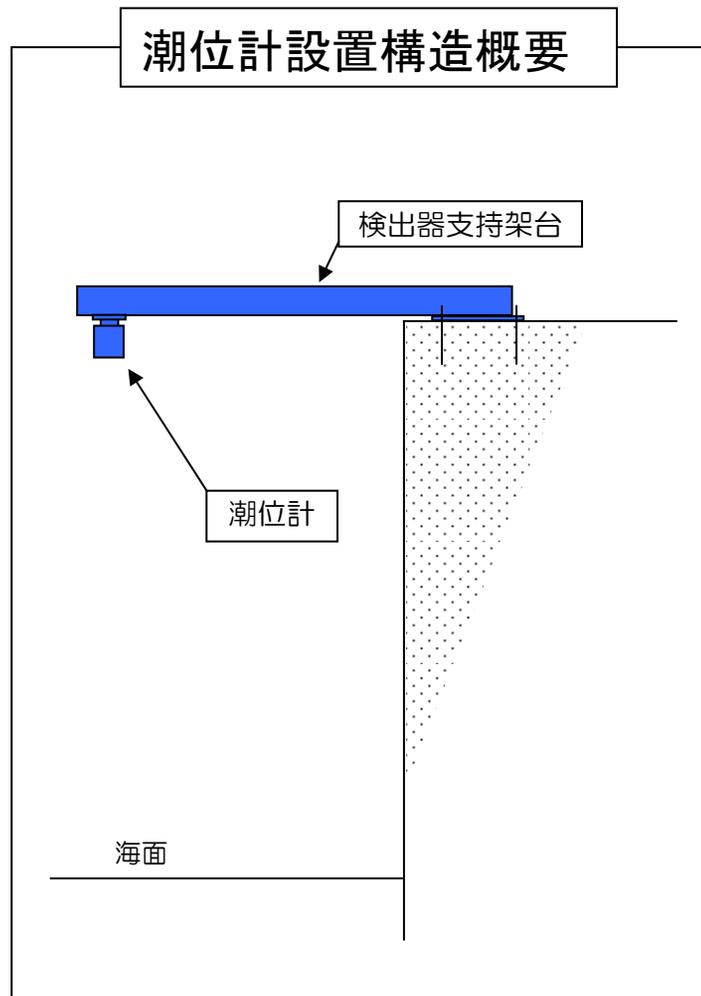
取水口潮位計信頼性向上

概要:地震時に停電した場合でも、地震に伴う津波による潮位変動を確実に監視できるよう電源を無停電電源化した潮位計を設置し、運転員が中央制御室において、海水ポンプの取水潮位を把握できるようにします。

潮位計設置位置概要



潮位計設置構造概要



消火用水槽の設置

概要：消火水源として消火用水槽と防火用水槽を兼ねた水槽1基(250^m³)及び防火用水槽1基(20^m³)の合計2基を設置します。

